

1. 件名：検査制度の運用に関する核燃料施設等設置者との面談

2. 日時：令和3年5月12日（水）17：03～17：53

3. 場所：原子力規制庁 2階打ち合わせテーブル（TV会議システムを利用）

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設等監視部門

熊谷統括監視指導官、伊藤企画調査官、福原監視指導官

日本原燃（株）安全・品質本部 安全推進部 安全技術グループリーダー 他5名

（株）グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン 環境安全部 部長 他1名

原子燃料工業（株）東海事業所 環境安全部 安全管理グループ長 他1名

三菱原子燃料（株）安全・品質保証部 副部長 他1名

日本原子力研究開発機構

人形峠環境技術センター 環境保全技術開発部 部長 他6名

5. 要旨

原子力規制庁から、ウラン加工の重要度評価に係る試運用の概要を伝え、今後以下のとおり事例検討を実施するにあたっての協力を依頼した。

形態：WebEx を利用した面談

頻度：四半期に1回程度（7月頃に1回目を開催予定）

参加者：原子力規制庁、日本原燃（株）及び日本原子力研究開発機構。その他の加工事業者については、別途対応を検討（窓口は三菱原子燃料）。

進め方：今後規制庁から提示する事例について、参加者がそれぞれ重要度評価を実施し、その結果を共有、適切な評価のあり方等について議論する。

6. 配布資料

なし。